

成果の説明書

(氏名) 沈 律	(学部) 経済学部
1 重要事項 【研究】 ・ 合同会社に関する研究の一環として、合同会社と類似する海外の事業組織形態の一つであるイギリスの LLP に関する研究の第一歩として UK LLP の形成と発展について検討を行った。具体的には、UK LLP の創設前史としてイギリスの Partnership と Limited Partnership について検討をし、以前執筆した Jersey LLP に関する研究ノート（高崎経済大学論集第 64 巻 4 号掲載）を含めて UK LLP の創設に向けた議論を検討した。また、2000 年に UK LLP に関する法律が制定された後から今に至るまでの UK LLP 法と LLP 規則の発展について検討を行い、その結果として論文を執筆した（高崎経済大学論集第 66 巻第 4 号掲載）。 ・ 各種法人ガバナンス研究会の成果として出版された書籍（尾崎安史ほか編『学校法人ガバナンスの現状と課題』日本評論社、2023 年）の中で第 12 章を担当し、地方私立大学の公立大学法人化について、その実態や理由、公立大学法人制度とその課題について執筆した。 【教育】 ・ 「会社法Ⅰ」と「会社法Ⅱ」、「商法総則・商行為」の授業を引き続き担当し、授業用のパワーポイントを改めて修正を行った。また、授業用のパワーポイントを基に穴埋めレジュメを配布用レジュメとして作成して授業前日に配布し、レジュメに書き込みながら授業を受講するように促した。 ・ ゼミ活動として、「基礎演習」では、メールの書き方や法律文献の引用方法などを説明し、その後、会社の設立から清算までの理解を深めるために仮想の会社を作ってシミュレーションすることをグループワークとして行った。また、「演習Ⅰ」では、会社法の争点についてとりまとめている『商法演習Ⅰ 会社法』を利用して小グループ別に輪読して報告をし、その内容を用いて毎回ディスカッションを行った。「演習Ⅱ」では、卒業論文を作成するために前期には研究計画書と参考文献リストを作成させ、後期には卒業論文の草案を作成して、最終的には卒業論文を完成するように指導を行った。	
2 その他の事項 ・ 高崎市景観審議会委員 ・ 日本私法学会への参加（2023 年 10 月） ・ ゼミの課外活動として海外フィールドワーク（韓国・ソウル市、2024 年 2 月）	
3 次年度以降の計画・抱負 研究については、合同会社について更なる研究を進めるために比較対象としてイギリスの LLP について研究を行う予定である。具体的には、UK LLP の構成員および指定構成員の権限等についてより詳細に検討を行う予定である。 教育については、既に作成している授業用のパワーポイントを、受講者の理解度を高めるための工夫をして修正を加える予定である。また、ゼミに所属している学生の積極的なゼミ活動を促すための工夫をする予定である。	